

部工会における交通安全に関する取組み

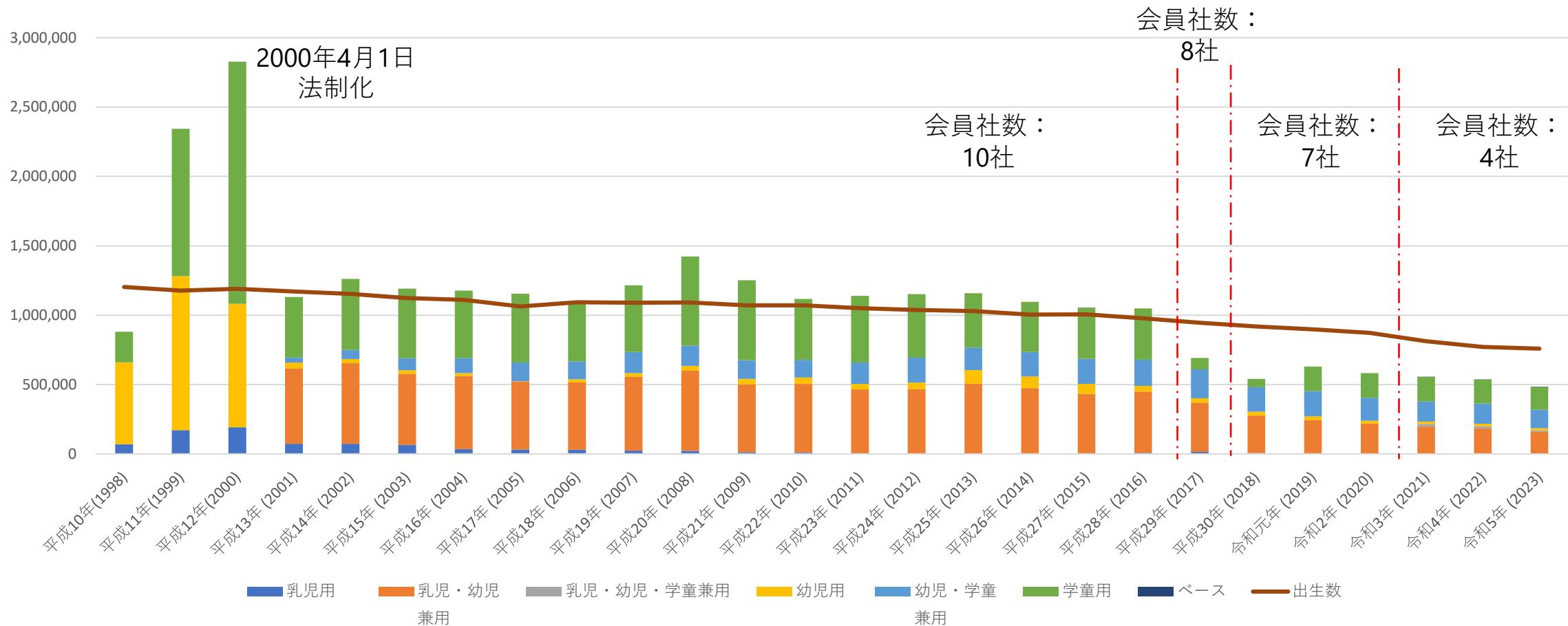
チャイルドシート分科会

一般社団法人 日本自動車部品工業会

- ・チャイルドシート出荷量推移の調査
チャイルドシート出荷量調査JAPIA統計
非会員会社へのチャイルドシート出荷量協力調査
- ・UNR129認可品の普及状況、活動について
UNR129認可品の普及状況
JAFユーザーテストへの協力
自動車アセスメント検討WGへの参画

出荷量推移の調査

■チャイルドシートの出荷量調査 JAPIA統計（1998年～2023年）

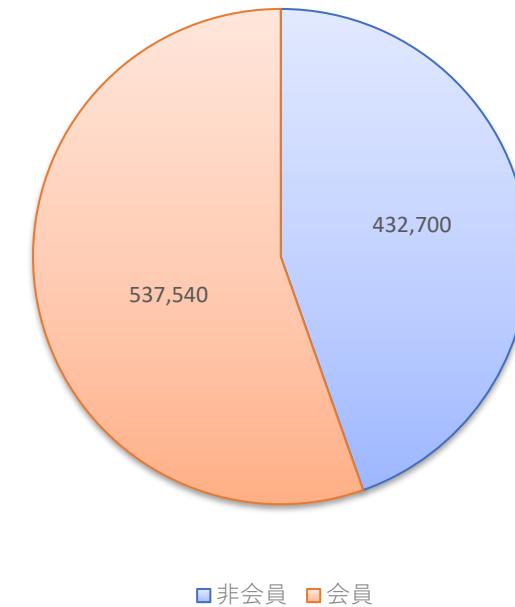
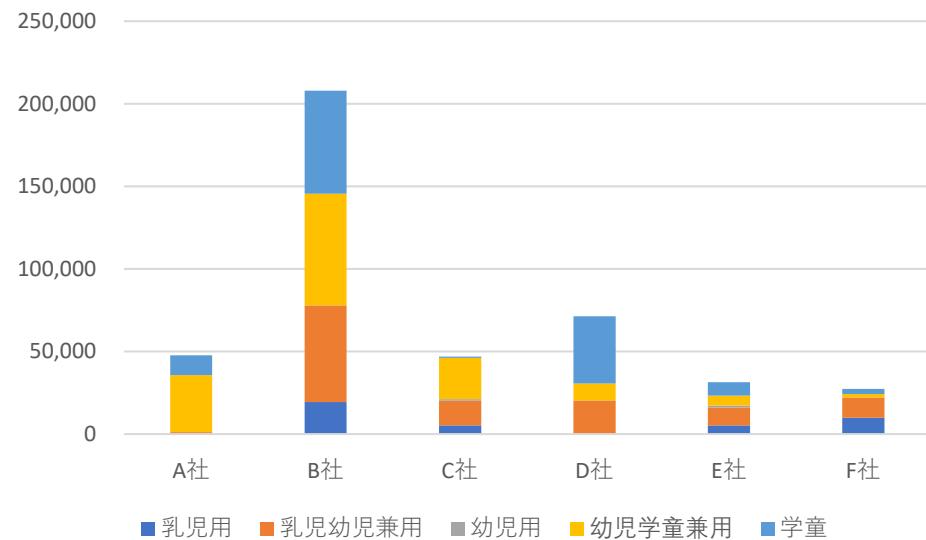


■2017年以降、会員会社の減少によりJAPIA出荷量統計と実際の市場の出荷数は違うと考えられる

■2024年以降は上記理由より調査を実施していない

出荷量推移の調査

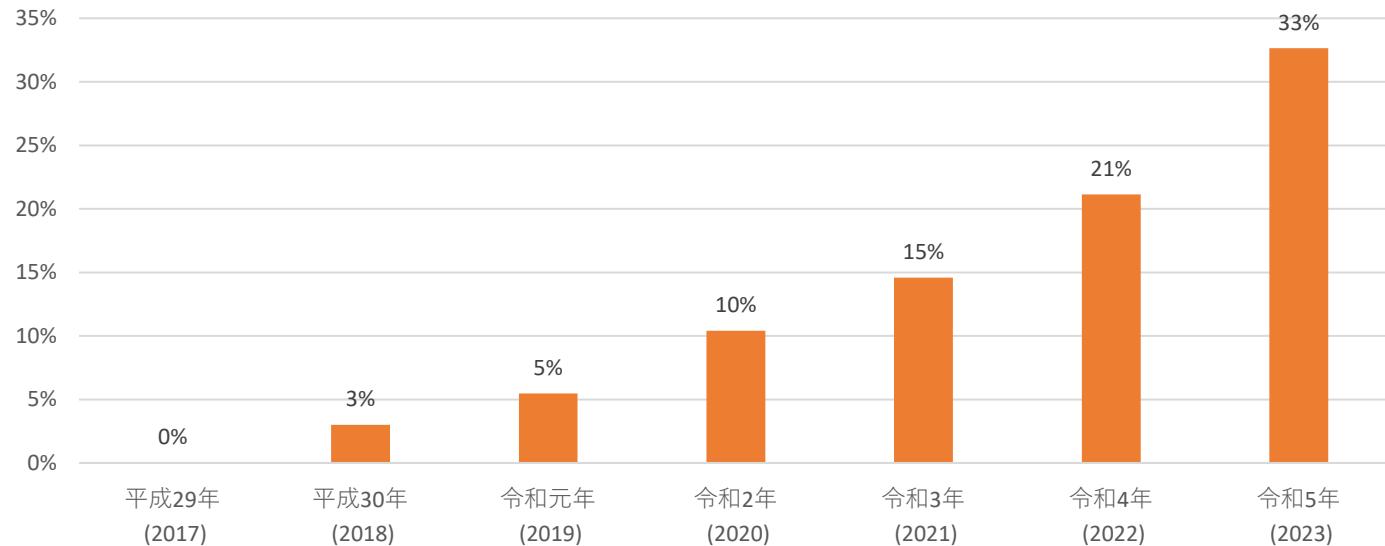
■市場の出荷実績を調査する為に輸入品等を扱っている非会員6社に出荷調査の協力を依頼（2022年）



■非会員分出荷数は43万台、会員分出荷量の54万台と合わせると2022年の出荷台数は97万台となる
非会員の出荷割合は約45%にある。

・UN R129認可品の普及推移

■R129認可品の出荷数推移（2017年～2023年）

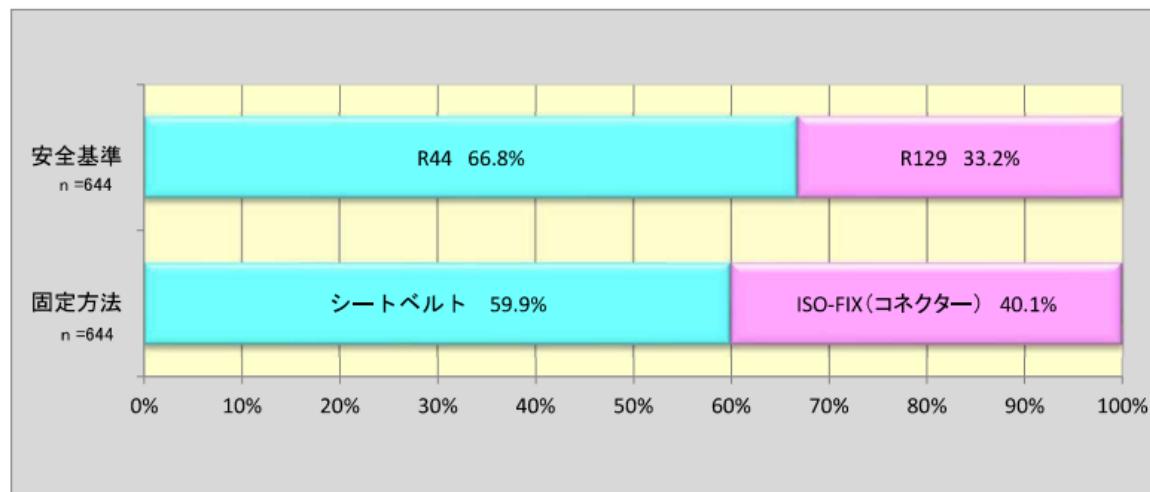


■2017年は0%であったが2023年には33%まで占めるようになった。

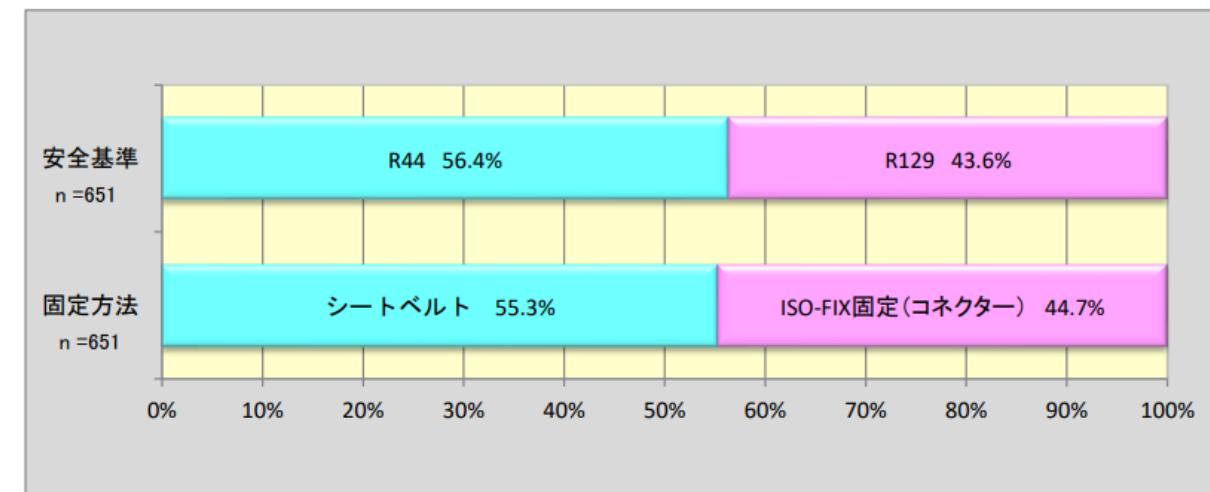
・UN R129認可品の普及状況

■道路運送車両の保安基準第2章及び第3章の規定規定関係の整理のため必要な事項を定める告示（適用整理）
第22条 年少者用補助乗車装置等 2021年6月9日 官報号外 第128号 国交省告示 第521号
により、2023年9月1日以降、日本国内での販売を目的としたUN R44認可品を製造できなくなり、
R129認可品の普及が加速している。

2024年JAF使用率調査



2025年JAF使用率調査



■2024年で33%、2025年で44%のR129認可品が使用されており増加傾向にある。

■一方で一部のインターネット販売店では2026年現在もR44認可品を販売しているお店がある。

- ・UN R129認可品の普及活動
 - ・JAFユーザーテストへの協力
- JAFの側面衝突によるチャイルドシートの安全性への協力をを行い、R129認可品の安全性の確認、ジュニアシートの重要性への啓蒙活動を行った。
- 体格に合わせて適切なチャイルドシートを使用することが子供の安全を守るために最も重要なため、身長が150cmになるまでジュニアシートを着用することを推奨している。
- 当会としては、身長150cmまでのチャイルドシート・ジュニアシートの着用義務化の推進に協力していきたい
- ・自動車アセスメント検討WGへの参画
- 自動車アセスメント検討WGへ参加し、側面衝突の導入などR129に則した評価内容となるよう協力をしている。